

# 「みえ県民カビジョン・第三次行動計画（仮称）」最終案 中間案からの主な修正箇所（抜粋）

## 第 1 編 基本的な考え方

### 第 1 章 第二次行動計画の総括と今後の課題

#### 1 第二次行動計画を振り返って

---

県議会の意見、状況の変化等を踏まえて記述を修正

- ・伊勢志摩サミット（P6）
- ・スポーツ（P7）
- ・防災・減災（P10）
- ・暮らしの安全・安心（P13）

#### 2 県民の意識から見た変化（P20）

---

「これからのみえづくり」に向けた高校生・大学生等意識調査結果の結果を追加  
⇒同調査結果の概要を巻末の参考資料としてついで

### 三重県を取り巻く時代潮流と現状認識（P23）

各項目に関連する図・グラフを追加

## 第 2 章 三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会の実現をめざして

#### 1 三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会について（P34）

---

（三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会）

県議会の意見、状況の変化等を踏まえて記述を修正

## 第2編 政策体系

### 第1章 政策体系の概要

#### 第1節 政策体系とは（P43）

##### 〔施策の指標の考え方〕

＜施策＞の進行管理を的確に行うとともに、県民の皆さんに取組の進捗状況をお示しするため、「主指標」、「副指標」について、それぞれの性質をふまえた実現可能かつ挑戦的な目標値を掲げ、数値目標としています。

##### ○主指標

「主指標」は、各＜施策＞のこの計画における目標（「県民の皆さんとめざす姿（令和5（2023）年度末での到達目標）」）をふまえ、当該＜施策＞において、県がさまざまな主体との協創の取組によって得られる最終的な成果を、県民の皆さんにわかりやすくあらわそうとしたものです。

＜施策＞の進行管理において、基本的な指標として活用します。

##### ○副指標

「副指標」は、各＜施策＞の成果や課題を適切に把握するために、県がさまざまな主体との協創との取組によって得られる成果、あるいは県が取り組んだことの効果をあらわす指標で、「主指標」を補足するのにふさわしい代表的な指標を複数設定しています。

第二次行動計画では、＜施策＞を構成する＜基本事業＞に1つ以上の「県の活動指標」を設定していましたが、「副指標」は、＜基本事業＞にかかわらず、＜施策＞を進行管理するため、主指標と共に各＜施策＞の成果をわかりやすくあらわす指標として活用します。

（参考：中間案）

##### ○主指標

「主指標」は、各＜施策＞のこの計画における目標（「県民の皆さんとめざす姿（令和5（2023）年度末での到達目標）」）をふまえ、当該＜施策＞において、さまざまな主体の取組によって得られる最終的な成果を、県民の皆さんにわかりやすくあらわそうとしたものです。

＜施策＞の進行管理において、基本的な指標として活用します。

##### ○副指標

「副指標」は、各＜施策＞の成果を評価する際に、各＜施策＞において県が取り組んだことの効果がわかる代表的な指標です。

第二次行動計画では、基本事業に1つ以上の「県の活動指標」を設定し、県が＜施策＞を構成する＜基本事業＞として取り組んだことの効果をあらわす指標としていましたが、＜施策＞の成果をわかりやすくあらわすため、「副指標」は、基本事業にかかわらず、＜施策＞の進行管理において、「主指標」を補足する指標として用います。

## 第3編 地方創生の実現に向けて

### 第1章 地方創生の現状と課題

#### 第3節 人口の将来展望 (P181)

平成27(2015)年10月に策定した「三重県人口ビジョン」(以下、「人口ビジョン」という。)の将来推計では、人口減少が進むと2060年時点には県全体で120万人まで落ち込むことをお示ししました。また、転出超過数を毎年280人ずつ改善し、合計特殊出生率を2020年代半ばに1.8台に引き上げるなど必要な対策を講じ、合計特殊出生率や転出超過数が改善された場合、2060年には県全体では142万人を確保することを見込んでいました。

その後4年が経過し、2060年の人口の将来推計に動きはありませんが、近年の転出超過の状況を踏まえ、転出超過が0になる時期をあらためて検討し、人口ビジョンの設定時期を5年後に見直すこととし、試算を行いました。それによると、県外への転出超過数(H30:4,225人)を、毎年374人ずつ改善するなど必要な対策を講じ、合計特殊出生率や転出超過数が改善された場合、2060年には北中部地域で119万人、南部地域で18万人、県全体では136万人を確保できることが見込まれます。

図5 三重県の将来人口のベース推計と将来展望

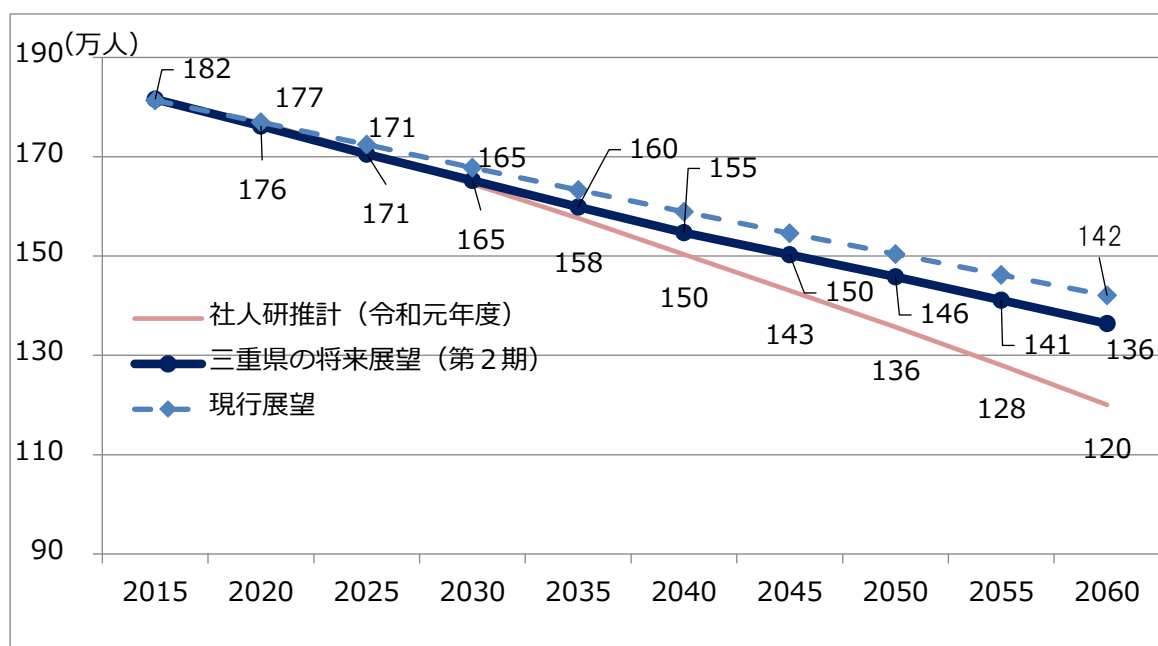


図 6 北中部の将来人口のベース推計と将来展望

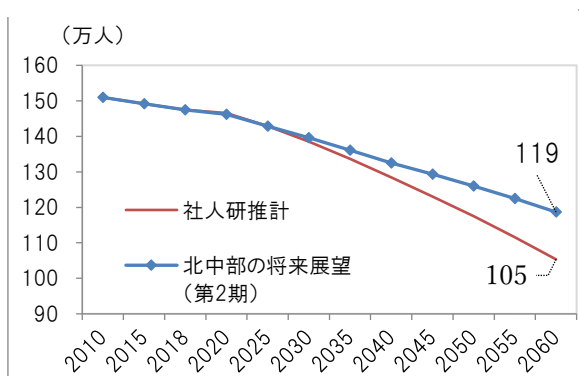
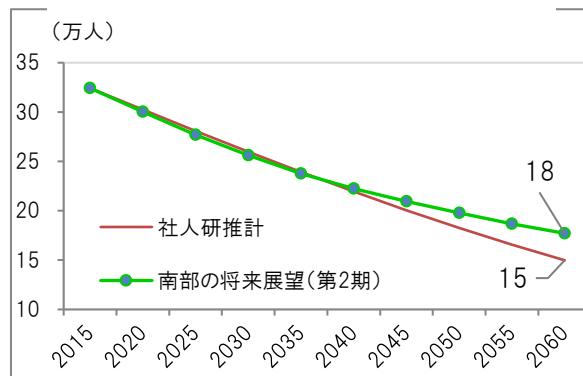


図 7 南部の将来人口のベース推計と将来展望



【三重県の人口の将来展望における設定値】

	2019	2020	2025	2030	2035	2040	~	2060	
合計特殊出生率	1.54	1.65	1.80	1.90	2.00	2.1			2.1
転出超過数	4,225	3,851	1,981	948	468	0			0
うち北中部	2,221	1,943	553	0	0	0			0
うち南部	2,004	1,908	1,428	948	468	0		0	

- ・ 2019年の転出超過数は、2018年の転出超過数と同じ数値を設定しています。
- ・ 合計特殊出生率は、北中部地域、南部地域とも、人口ビジョンの設定から変更しません。
- ・ 三重県の「転出超過数」については、北中部地域と南部地域の設定値を合計し、2022年まで毎年280人ずつ（北中部200人、南部80人）、2023年から2035年まで毎年80人（南部80人）ずつ転出超過数を改善し、人口ビジョン策定当時現在3,000人の転出超過数を2035年までに0にするとしていました。
- ・ しかし、2015年の県全体の転出超過数が人口ビジョン策定当時の見込み3,000人から4,000人以上に増加しています。
- ・ こうした変化を勘案し、転出入を均衡させる時期を5年見直し、北中部では概ね2022年から5年後の2027年までに転出超過数を0、南部地域では2035年から5年後の2040年までに転出超過数を0にすることとしました（2027年まで毎年374人ずつ（北中部278人、南部96人）、2028年から2040年まで毎年96人ずつ（南部96人）転出超過数を改善）。

## 第2章 地方創生の実現に向けて

### 第1節 基本的な考え方 (P183)

(「量」と「質」を重視した地方創生)

地方創生とは、人口の減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、地域の自立的かつ持続的な活性化を実現していくことです。

このため、第2期「総合戦略」の推進にあたっては、第1期で取り組んできた成果を土台に、地域を支える人材を確保するという量的な視点だけでなく、それぞれの地域が持つ独自性を生かし、魅力ある地域を創り上げ、そこに住む個々人の希望をかなえるという「質」を重視した取組を進め、県内外のさまざまな人から選ばれ、人々の交流が深まり、豊かに暮らすことができる三重をめざしていきます。

### 第2節 具体的な取組の方向 (P186)

※県の総合戦略は、国の総合戦略を勘案することになっているため、国の第2期「総合戦略」が策定された後、数値目標等を見直す可能性があります。

#### 活力ある働く場づくり

「地域の強み」を生かし、活力ある「働く場」を創出する三重

#### 1 基本的方向

- Society 5.0 時代につながる新しい視点・発想やデータの利活用等により、さまざまな産業分野において、生産性の向上を進めるとともに、新しい商品・サービスを創出し、将来の地域社会の担い手である若者にとって魅力ある「働く場」を増やしていきます。
- 国内外の企業による県内への投資を呼び込み、成長が期待される産業や国際競争力のある産業など多様な産業において、活発に事業活動を行える環境づくりを進め、新たな「働く場」の創出を図っていきます。
- 誰もが働き続けられる職場環境づくりを進め、個人の能力や適性を生かした活力ある「働く場」を増やしていきます。また、生産性の向上や人材の確保・定着につながる働き方改革を進めていきます。

#### 2 数値目標

- 県内総生産（実質）  
〔現状値〕 8兆99億円（H29速報） → 〔目標値〕 8兆6,289億円（R4）
- 就業者数  
〔現状値〕 913,924人（H28） → 〔目標値〕 90万人（R3）

#### 3 主な具体的な施策

- 農林水産業の多様なイノベーションの促進とブランド力の向上（施策311）

- 農業の振興 (施策 312)
- 林業の振興と森林づくり (施策 313)
- 水産業の振興 (施策 314)
- 中小企業・小規模企業の振興 (施策 321)
- Society 5.0 時代の産業の創出 (施策 323)
- 多様な働き方の推進 (施策 342)

#### 4 主な重要業績評価指標 (KPI)

- 「みえフードイノベーション」や新たなブランド認定から生み出される県内事業者の商品等の売上額
- 農業産出等額
- 県産材素材生産量
- 漁業産出額
- 三重県版経営向上計画の認定を受けた中小企業・小規模企業のうち、収益等が向上または維持した企業の割合
- 今後、三重県経済をけん引することが期待される産業分野における商品・サービスの創出等の件数
- 多様な就労形態を導入している県内事業所の割合

### 未来を拓くひとづくり

若い世代が未来に向けて挑戦し、自らの可能性を広げ、地域で活躍できる三重

#### 1 基本的方向

- 三重県で学び、成長したいという若者の希望の実現に向けて、高等教育機関の魅力向上や学びの選択肢の拡大に取り組みます。
- 高等教育機関、産業界などさまざまな主体と連携して、学びたい時にいつでも学べる環境をつくとともに、地域から求められる能力を身につけ、地域で活躍し続けることができる人材を育成していきます。
- 子どもたちが郷土の豊かな自然や歴史、文化等について理解し、郷土への愛着や誇りを育む機会をつくっていきます。また、地域課題の解決を図る学びの場を通して、地域の成長・発展に貢献しようとする思いを育み、三重の未来を担う人材を育成していきます。
- 一人ひとりの個性や多様性が尊重され、それぞれの能力を発揮しながら、いきいきと働き続けられる環境づくりを進めていきます。

#### 2 数値目標

- 県内外の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合  
[現状値] 44.8% (H30) → [目標値] 50.0% (R5)

- 若者の定住率  
〔現状値〕 87.37% (H30) → 〔目標値〕 87.37% (R 5)

### 3 主な具体的な施策

- 個性を生かし他者と協働して未来を創造する力の育成 (施策 222)
- 地域との協働と信頼される学校づくり (施策 225)
- 地域の未来と若者の活躍に向けた高等教育機関の充実 (施策 226)
- 次代を担う若者の県内定着に向けた就労支援 (施策 341)

### 4 主な重要業績評価指標 (KPI)

- 社会的な課題について話し合う活動を行っている高等学校の数
- コミュニティ・スクールに取り組んでいる小中学校の割合
- 県内高等教育機関入学者の県内からの入学者の割合 (県内入学率)
- 県内高等教育機関と取り組む産学官連携の件数
- おしごと広場みえ等に登録した求職者の就職率
- インターンシップ実施率

## 希望がかなう少子化対策

結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、全ての子どもが豊かに育つことのできる三重

### 1 基本的方向

- 子どもたちや若い世代が家族の大切さや妊娠・出産や性に関する医学的に正しい知識を習得し、自らのライフデザインを考える機会の創出や、結婚を希望する人たちへの出会いの支援、不妊に悩む家族への支援など、結婚や妊娠・出産を希望する人を応援する取組を進めていきます。
- 生まれ育った環境にかかわらず、全ての子どもが健やかに夢と希望を持って育つことができるよう、さまざまな主体とともに子育て家庭を社会全体で支える環境づくりに取り組んでいきます。
- 保育所や放課後児童クラブの待機児童の解消など、子育て支援サービスが地域のニーズや実情に応じて提供され、安心して子育てができる地域づくりを進めていきます。  
また、職場や地域社会の中で、男性の育児参画が大切であるという考え方を広めるとともに、仕事と育児を両立できる職場環境づくりを進めていきます。

### 2 数値目標

- 県の合計特殊出生率  
〔現状値〕 1.54 (H30)  
2020年代半ばに、県民の結婚や出産の希望がかなった場合の水準(「希望出生率」)である



1.8 台に引き上げます。

- 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合  
〔現状値〕 51.5% (H30) → 〔目標値〕 61.5% (R 5)

### 3 主な具体的な施策

---

- 児童虐待の防止と社会的養育の推進 (施策 133)
- 県民の皆さんと進める少子化対策 (施策 231)
- 結婚・妊娠・出産の支援 (施策 232)
- 子育て支援と幼児教育・保育の充実 (施策 233)

### 4 主な重要業績評価指標 (KPI)

---

- 里親・ファミリーホームでケアを受けている要保護児童の割合
- 男性の育児休業取得率
- 「みえの子ども応援プロジェクト」に参加した企業・団体数
- 不妊治療に職場の理解があると感じている人の割合
- 産婦健診・産後ケアを実施している市町数
- 保育所等の待機児童数
- 放課後児童クラブの待機児童数

## 魅力あふれる地域づくり

**暮らしの豊かさや安全・安心が実感でき、ひとや地域のつながりが新たな力を生み出す三重**

### 1 基本的方向

---

- 県民の皆さん一人ひとりが安心して豊かに暮らせるよう、AI、IoTなどの新技術を積極的に取り入れ、医療、介護、福祉、生活交通などのサービスが確実に受けられるとともに、災害に強く、犯罪や交通事故のない地域づくりを進めていきます。
- 人生100年時代を迎えるにあたり、いくつになっても誰もがいきいきと健康的に暮らせる とこわかの三重の実現に向けて、Society 5.0 や SDGs などの新しい考え方も取り入れながら、県民の皆さん一人ひとりの主体的な健康づくりやスポーツを通じた健康増進、企業等の経営力向上にもつながる健康経営に向けた取組を進めていきます。
- 暮らしを営む場としての三重の魅力を発信し、移住・定住につなげていくとともに、地域の活性化や将来的な移住者の拡大等に寄与することが期待される関係人口の創出・拡大を図っていきます。
- 三重が誇る食材、伝統工芸品等の地域資源や観光資源が持つ個性や優位性を生かし、国内外における営業活動を展開することにより、三重の魅力発信に取り組み、三重の魅力づくり、認知度向上に取り組んでいきます。
- 観光産業の高付加価値化などを進めるとともに、三重県観光のブランディング、三重が



世界に誇る観光資源を生かした新たな観光の魅力を創造することで、世界からの観光客の流れを創出していきます。

- 新たな人と人、人と地域のつながりが、新たな価値を創出し、さらに地域の魅力を高めていけるよう、積極的な情報発信やさまざまな立場の人や組織、地域を結びつける取組を進めていきます。

## 2 数値目標

---

- 県外への転出超過数  
〔現状値〕 4,225 人 (H30) → 〔目標値〕 2,729 人 (R5)
- 健康寿命  
〔現状値〕 男性 78.5、女性 80.9 (H29) → 〔目標値〕 男性 79.6、女性 81.4 (R4)

## 3 主な具体的な施策

---

- 災害から地域を守る自助・共助の推進 (施策 111)
- 健康づくりの推進 (施策 124)
- 多文化共生社会づくり (施策 213)
- 農山漁村の振興 (施策 253)
- 移住の促進 (施策 254)
- 世界から選ばれる三重の観光 (施策 331)
- 道路網・港湾整備の推進 (施策 351)
- 安心を支え未来につなげる公共交通の充実 (施策 352)

## 4 主な重要業績評価指標 (KPI)

---

- 率先して防災活動に参加する県民の割合
- 特定健康診査受診率
- 多文化共生の社会になっていると感じる県民の割合
- 農山漁村の活性化につながる新たな取組数
- 県および市町の施策を利用した県外からの移住者数
- 観光消費額
- 県民生活の安全性・利便性の向上や地域の経済活動等を支援する道路の新規供用延長
- 県内の鉄道とバスの利用者数

## 第4編 計画の推進

### 第2章 計画の進行管理

#### 第2節 県民の幸福実感の把握（P214）

##### ●幸福実感指標

	政策分野	指 標
Ⅱ 「創る」	Ⅱ－1 人権の尊重とダイバーシティ社会の推進	性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できていると感じる県民の割合
	Ⅱ－2 学びの充実	子どものためになる教育が行われていると感じる県民の割合
	Ⅱ－3 希望がかなう少子化対策の推進	結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、子どもが豊かに育っていると感じる県民の割合 ⇒結婚・妊娠・子育てなどの希望がかなっていると感じる県民の割合
	Ⅱ－4 三重とこわか国体・三重とこわか大会の成功とレガシーを生かしたスポーツの推進	スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っていると感じる県民の割合
	Ⅱ－5 地域の活力の向上	自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じる県民の割合

#### 参考資料（P219）

「『これからのみえづくり』に向けた高校生・大学生等意識調査結果（概要）」を追加  
「『みえ県民カビジョン・第三次行動計画（仮称）』の施策とSDGs（持続可能な開発目標）との関係～関連する主なSDGsの目標（ゴール）～」を追加